



清掃・縦割活動

清掃担当

中田小学校は、月、水、金曜日に清掃をしています。「普段使っている場所を自分たちで掃除する」のは、とても大切なことだと思います。縦割清掃活動を通して、異学年の仲間と協力しながら身の回りを自分できれいにする子供たちに育ってほしいと願っています。



全校児童による縦割清掃は、他学年の友達と交流することができる貴重な時間です。1学期ごとに縦割り班のメンバーを変え、6年生がリーダーとなって班をまとめています。新しい班になったときは、まずメンバーが仲よくなるための交流活動を行っています。

子供たちは、雑巾、ほうき、ちりとりだけでなく、モップやブラシ等、色々な道具を使って掃除をします。低学年の子供が使ったことのない場所や道具の担当になったときは、高学年が中心となり掃除の仕方を教えています。

先日、掃除中に教室の中からにぎやかな声が聞こえていました。遊んでいるのかと思いきや、全員が一心不乱に雑巾がけをしていました。「42回、43



回・・・！」と、みんな笑顔で数えています。何の回数かたずねると、全員が雑巾がけをした総数を数えていたのだそうです。異学年の児童が笑顔で関わり、楽しみながら掃除をする姿に本校の縦割清掃のよさが見えた気がしました。



3年生 総合的な学習の時間「中田のすてきをみつけよう」

3年担任



3年生は、総合的な学習の時間に、「中田のすてきをみつけよう」というテーマで地域学習に取り組んでいます。子供たちは、2年生の時の町探検やあしつきかるたの経験から、すでに様々な「すてき」を見つけています。しかし、改めてあしつきかるたをじっくり見てみると、中田には歴史的な「すてき」がたくさんあることに気がきました。

夏休みには、家の人にも協力していただき、現地へ足を運んだり、中田図書館を利用して難しい内容の本を解説してもらいながら調べたりしました。

また、先日は、みんなで地域の森田農園さんを見学させていただき、トマトの秘密やトマトにかける森田さんの愛情をたくさんうかがいました。中には、「誕生日はケーキじゃなくて、森田さんのトマトがいい！」と大ファンになった子もいました。新たな中田の「すてき」を発見し、子供たちは満足気でした。

3学期は、たくさん見付けた「すてき」をまとめて、発表することに挑戦します。この学習を通して、一段と中田愛が高まることを期待しています。



